研究に御協力していただけるみなさまへ

リハビリテーション科では、ボランティアのみなさまを対象に定量的な手首機能評価を行うための基礎調査を実施しています。

目的は「脳梗塞患者の手首機能の定量的評価」のための基礎調査です。

脳卒中の手首機能の改善では従来では半定量的な評価が中心でした。今回私達は、その評価を定量的に評価する方法を開発しております。それにより、より正確な機能障害の客観的評価が行え、リハビリテーションの効果判定および予後判定の精度の向上が期待できます。今回ご協力をお願いする調査は各手首機能検査法の日本人健常者での正常値を作成することを目的としております。

侵襲性のない検査です

この基礎調査にご協力頂ける方には、実際、患者さんに行う予定の検査と同じ内容の検査を受けて頂きます。それは、パソコン画面上を移動するカーティの運動を手首運動により制御、前腕筋から筋活動を表面筋電図で測定致します。

侵襲性のない検査です、協力していただくのにかかる時間は30分～40分程度です。
時間、日程などは皆様のご都合に合わせてそのつど相談させていただきます。

この調査の対象は以下の方々です。
20歳以上の男女の方々が対象です。ただし、以下の方は除きます。
・これまでに、神経のご病気になり、病院で治療を受けたことがある方
・これまでに（あるいは今）、手足にしびれや動きにくさを自覚したことがある方
（対象に適しているかどうか判断がつかない場合は、担当者がご様子をお聞きした上で判断いたしますので、下記担当科、担当医までお問い合わせ下さい）

お名前や個人情報でることはない、一切ありません。

必要な情報のみを統計資料として集計しましょうので、当院外にお名前や個人情報が出来ることはありません。
ご不明な点がありましたら、下記担当科までお問い合わせください。

協力することにしたけれども、やはりやめたいということ方はお申し出ください。

この調査に協力することにして、実際、検査を受けたけれども、やっぱり嫌だと感じられた方は何時でもお申し出下さい。その際、決して不利益を受けることはありません。
その場合は、担当医にその場でお申し出ください。

東海大学医学部附属病院リハビリテーション科
担当医師  正門  由久・霜田  直史
連絡先 0463-93-1121（代）内線 2485

—東海大学医学部附属病院—